倫理委員会議事要旨

令和3年10月20日		
申請者	副院長　市原　典子	
研究課題名 人生の最終段階における医療・ケアに関する規定		
研究の目的及び概要 高松医療センターの規定を示し、終末期における良質な医療の提供に資する事を目的とする。		
審査結果	承認	

申請者	看護師　山田　智人	
研究課題名 筋強直性ジストロフィー患者の残存機能を活かしたパソコン使用が療養生活にもたらす影響		
研究の目的及び概要 意欲の無さという行動特徴を持つ筋強直性ジストロフィー患者の入院生活に、以前趣味であったパソコンを取り込むことでどのように療養生活が変化するか明らかにする。		
審査結果	承認	

申請者	看護師　寺嶋　静香	
研究課題名 ALS患者が白内障術後の見えにくさへの対応を考えることができない要因		
研究の目的及び概要 ALS患者にとって重要なコミュニケーション手段である眼球運動を阻害する白内障術後の視力低下への対処方法を探り、必要とされる援助を見いだす事を目的とする。		
審査結果	承認	
申請者	看護師　赤澤　舞	
研究課題名 透明文字盤でのコミュニケーションが困難となっているALS患者への介入方法		
研究の目的及び概要 ALS患者にとって重要なコミュニケーション手段である眼球運動機能の低下に対応した新たなコミュニケーションツールを見いだす事を目的とする。		
審査結果	承認	

申請者	看護師　鈴木　芹菜	
研究課題名 ALSレスパイト患者が経口摂取を継続するための取り組み ～関係者との情報共有ツールを用いて～		
研究の目的及び概要 定期的に短期入院する進行期のALS患者について、入院の度変化する病状に対応し継続的な経口摂取を可能とするための自宅と病院で共有するツールを見いだすことを目的とする。		
審査結果	承認	

申請者	看護師　石山　誉
研究課題名	

パーキンソン病リハビリテーション入院体験患者が期待する看護師の関わり		
研究の目的及び概要 パーキンソン病リハビリテーション入院体験患者にインタビューすることで看護師との関わりに対する気付きを共有し、看護の評価を行いより効果的な援助に向けて改善を図ることを目的とする。		
審査結果	承認	

申請者	看護師　松岡　海里	
研究課題名 緩慢な回復経過をたどるギランバレー症候群患者が目標を変更し家族と面会できた要因		
研究の目的及び概要 自力での食事摂取可能な状態になるまで家族との面会を断っていたギランバレー症候群患者が目標を変更し回復前にリモート面会を希望するようになった要因を明らかにすることで、緩慢な回復経過をたどる患者が現状に合わせてより良い選択を行うための援助に活かすことを目的とする。		
審査結果	承認	

申請者	看護師　齊藤　菜月	
研究課題名 長期療養中に悲観的発言がみられるALS患者への関わり ～経口摂取への取り組みを通して～		
研究の目的及び概要 透明文字盤で悲観的な発言を繰り返すALS患者に対し経口接種の楽しみが患者に及ぼす影響を明らかにする事を目的とする。		
審査結果	承認	

申請者	看護師　清田　実希	
研究課題名 常に同一姿勢で過ごすALS患者の褥瘡治癒に向けた取り組み ～ポジショニングを検討して～		
研究の目的及び概要 褥瘡を繰り返す要因を明らかにし、患者の楽しみを維持しながら褥瘡治癒につながる援助を見いだし、四肢全廃のALS患者の体位調整と褥瘡対策に活かす事を目的とする。		
審査結果	承認	

申請者	看護師　木村　美月	
研究課題名 誤嚥性肺炎を繰りかえすA氏の口腔ケアの取り組み ～OHTAを使用した実態調査を行って～		
研究の目的及び概要 誤嚥性肺炎を繰り返す患者に対する口腔ケアについての実態を把握し、看護以外に歯科医、歯科衛生士を加えた上で効果的な口腔ケアの方法を見いだすことを目的とする。		
審査結果	承認	

申請者	看護師　造田　響	
研究課題名 ⑪ NGチューブ挿入中の脳性麻痺患者が楽しく経口摂取を続けるための援助		
研究の目的及び概要		

その多様性から介入の標準的な原則の確立に至っていない脳性麻痺患者に対し継続的な経口摂取方法を多職種で検討し見いだす事を目的とする。見いだすことが出来れば、脳性麻痺患者の経口接種におけるアプローチの一助となる。		
審査結果	承認	